

平成 24 事業年度

決算報告書

【第9期】

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

## 平成24年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
<b>収 入</b>				
運営費交付金	4,655	4,582	△ 73	(注1)
うち補正予算による追加	1	99	98	(注2)
施設整備費補助金	315	315	0	
うち補正予算による追加	0	0	-	
補助金等収入	140	218	78	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	26	0	
自己収入	2,027	1,950	△ 77	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,931	1,772	△ 159	(注4)
雑収入	96	178	82	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	490	514	24	(注6)
長期借入金収入	-	-	-	
引当金取崩	-	1	1	(注7)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	7,653	7,606	△ 47	
<b>支 出</b>				
業務費	6,682	6,402	△ 280	
教育研究経費	6,682	6,402	△ 280	(注8)
施設整備費	341	341	0	
うち施設災害復旧事業	341	341	0	
補助金等	140	236	96	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	490	397	△ 93	(注10)
貸付金	-	-	-	
計	7,653	7,376	△ 277	
収入 - 支出	-	230	230	

### ○予算と決算の差異について

- (注1) 前年度の運営費交付金債務を繰越したため、予算額に比して決算額が72百万円増額となった。  
 国家公務員の給与削減と同等の給与削減相当額を削減したため、予算額に比して243百万円の減額となった。  
 国からの補助金98百万円(注2)の増額と合せ、総額で予算額に比して決算額が73百万円の減額となった。
- (注2) 国からの補助金(補正予算第一号)98百万円により、予算額に比して決算額が98百万円増額となった。
- (注3) 国からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が78百万円増額となった。
- (注4) 授業料が予算額に比して決算額が149百万円の減額となった。  
 入学料が予算額に比して決算額が9百万円の減額となった。  
 検定料が予算額に比して決算額が1百万円の減額となり、総額で予算額に比して決算額が159百万円減額となった。
- (注5) 財産貸付及び研究関連収入の利用増加等に伴い、予算額に比して決算額が82百万円増額となった。
- (注6) 受託研究等の受入れが予算額に比して決算額が24百万円の増額となった。
- (注7) 引当金取崩が予算額に比して決算額が1百万円増額となった。
- (注8) 注4に示した理由により予算額に比して決算額が280百万円減額となった。
- (注9) 注3に示した理由により予算額に比して決算額が96百万円増額となった。
- (注10) 受託事業の支出は予算額に比して決算額が23百万円増額となった。  
 受託研究事業の支出は予算額に比して決算額が96百万円減額となった。  
 寄附金事業の支出は予算額に比して20百万円減額となり、総額で予算額に比して決算額が93百万円の減額となった。